

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月30日

上場会社名 株式会社スペースシャワーネットワーク 上場取引所 東
 コード番号 4838 URL <http://www.spaceshower.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 英明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 案納 俊昭 TEL 03-3585-3242
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	8,893	0.6	183	△11.0	186	△12.6	99	△7.8
26年3月期第3四半期	8,841	△0.2	206	△22.1	212	△24.5	108	△20.3

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 99百万円 (△8.0%) 26年3月期第3四半期 108百万円 (△20.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	9.34	—
26年3月期第3四半期	10.13	—

(参考) 持分法投資損益 27年3月期第3四半期 △1百万円 26年3月期第3四半期 △1百万円

(注) 平成25年10月1日付をもって1株を100株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、これに伴い、1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,476	3,715	57.4
26年3月期	6,448	3,735	57.9

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,715百万円 26年3月期 3,735百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	11.25	11.25
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,909	2.3	299	41.5	301	32.5	161	87.8	15.14

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	10,690,800株	26年3月期	10,690,800株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	0株	26年3月期	0株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	10,690,800株	26年3月期3Q	10,690,800株

（注）平成25年10月1日付で株式1株につき100株の株式分割を実施しております。上記の株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策及び日銀による金融緩和を背景とした円安や株高傾向が継続し、企業業績や雇用情勢に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動及び実質可処分所得の減少などによる消費低迷懸念が存在し、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

こうした状況の中、当社グループでは、当第3四半期連結会計期間を、平成26年12月1日に開局25周年を迎えたスペースシャワーTVの「25周年イヤープロジェクト最終章」と位置づけ、当連結会計年度の経営方針である「事業グループの再設計と成長発展期待分野への積極的取り組みの促進」、「顧客や関連業界に対する存在感と期待感の拡大による優位なポジションの獲得」、「不採算事業の見直し再編による業績伸長と持続発展可能な基礎収益力構造の創出」に向け、積極的な取り組みを行いました。

「事業グループの再設計と成長発展期待分野への積極的取り組みの促進」に向けた取り組みといたしましては、平成26年10月にデジタルサービス推進部を新設し、急速に普及するスマートフォンやタブレット端末ユーザーを獲得すべく、「スペシャアプリ」配信コンテンツの強化を実施いたしました。

「顧客や関連業界に対する存在感と期待感の拡大による優位なポジションの獲得」に向けた取り組みといたしましては、スペースシャワーTV開局25周年を記念し、「俺たちは、スペシャルか？」のスローガンのもと、総勢250名を超える出演者を迎え、特別番組「25時間テレビ」を無料生放送するとともに、「スペシャアプリ」にて生配信を行い、ユニークユーザー数が過去最高となるなど大きな盛り上がりを見せました。また、「ライブハウスを中心に活躍するインディーズアーティストや、ビデオクリップのないアーティストを、ライブを通してその魅力を全国の視聴者に伝える」というコンセプトのもと、当社が主催するライブイベント「スペースシャワー列伝」が、通算100公演を迎えたことを記念し、現在武道館クラスの会場を満員にすることができる過去の「スペースシャワー列伝」出演者を含む、合計100組のアーティストが出演する、全25公演の「スペースシャワー列伝100」を開催いたしました。

「不採算事業の見直し再編による業績伸長と持続発展可能な基礎収益力構造の創出」につきましては、書籍関連において、印刷部数適正化を中心とした新刊本の収支コントロール強化や固定費削減により、大幅な収益構造改善を実現いたしました。引き続き、他の事業においても組織改編を含む事業構造の見直しを図りつつ、コスト削減に努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高につきましては、主に平成26年8月開催の当社主催野外フェス「SWEET LOVE SHOWER 2014」を成功裏に終えたことにより、8,893,524千円と前年同期比51,668千円増（同0.6%増）となりましたが、利益につきましては、25周年記念番組制作費の戦略的な投入などにより、営業利益は183,609千円と前年同期比22,675千円減（同11.0%減）、経常利益は186,022千円と前年同期比26,747千円減（同12.6%減）、四半期純利益は99,851千円と前年同期比8,476千円減（同7.8%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①音楽事業

有料放送の番組視聴可能世帯数につきましては、主に「スカパー！標準画質サービス」が平成26年5月に放送終了したことにより大きく減少した結果、「スペースシャワーTV」が814万6千世帯（前年度末比9万2千世帯減）、「100%ヒッツ！スペースシャワーTVプラス」が256万6千世帯（前年度末比33万2千世帯減）となりました。視聴可能世帯数の減少に伴い有料放送収入が前年同期比で減少したことや、レコードメーカーからの広告出稿が減少したことに加え、25周年記念番組放送に伴い、番組制作費を戦略的に投入したことなどにより、当第3四半期連結累計期間における放送関連の業績は前年同期を下回る結果となりました。音楽ソフト関連では、ブレイクの兆しを見せている「ゲスの極み乙女。」をはじめとした自社マネジメントアーティスト関連のイベント出演収入やグッズ販売収入が増加したものの、パッケージ販売収入やレーベル事業収入が前年同期比で減少したことにより、前年同期を下回る結果となりました。また、書籍関連では、収益構造の改善が実を結びつつあり、安定した新刊本の刊行や、返品数の減少などにより、前年同期を大きく上回る結果となりました。この結果、売上高は7,751,313千円と前年同期比117,051千円増（同1.5%増）、経常利益（セグメント利益）は、135,731千円と前年同期比8,700千円減（同6.0%減）となりました。

②映像制作事業

当事業につきましては、当第3四半期連結累計期間は、前年同期比で受注数が微増したものの、ミュージックビデオ制作やLIVE映像制作、CM制作の大型案件が前年同期比で減少したことなどにより、売上高は1,142,210千円と前年同期比65,382千円減（同5.4%減）と前年同期を下回る結果となりました。この結果、経常利益（セグメント利益）は、65,283千円と前年同期比12,666千円減（同16.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が40,592千円、受取手形及び売掛金が63,238千円増加し、一方で流動資産繰延税金資産が35,990千円、ソフトウェアが27,676千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ27,970千円増加し、6,476,431千円となりました。

負債につきましては、買掛金が67,254千円、流動負債その他が78,426千円増加し、一方で預り金が37,728千円、賞与引当金が59,367千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ48,390千円増加し、2,760,989千円となりました。また、純資産は利益剰余金が20,419千円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ20,419千円減少し、3,715,441千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、概ね予想通り推移しており、平成26年4月25日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,826,933	2,867,526
受取手形及び売掛金	1,598,050	1,661,289
商品及び製品	265,642	283,681
仕掛品	160,320	150,800
原材料及び貯蔵品	2,161	2,638
未収還付法人税等	8,470	5,811
繰延税金資産	124,537	88,546
その他	177,983	183,792
貸倒引当金	△52,972	△51,269
流動資産合計	5,111,128	5,192,816
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	523,617	523,617
機械装置及び運搬具	15,506	15,170
工具、器具及び備品	329,080	360,744
土地	72,455	72,455
リース資産	449,755	449,755
建設仮勘定	—	1,946
減価償却累計額及び減損損失累計額	△916,836	△987,369
有形固定資産合計	473,578	436,319
無形固定資産		
ソフトウェア	201,645	173,969
リース資産	1,312	—
ソフトウェア仮勘定	4,564	2,474
その他	16,249	18,569
無形固定資産合計	223,771	195,012
投資その他の資産		
投資有価証券	67,527	66,108
敷金及び保証金	317,325	332,543
繰延税金資産	208,285	207,794
その他	87,003	82,326
貸倒引当金	△40,159	△36,491
投資その他の資産合計	639,982	652,281
固定資産合計	1,337,332	1,283,614
資産合計	6,448,460	6,476,431

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,001,544	1,068,799
リース債務	42,312	31,858
未払金	183,109	197,904
未払法人税等	39,547	23,365
預り金	463,264	425,536
賞与引当金	128,211	68,843
役員賞与引当金	21,187	15,356
返品調整引当金	78,416	83,013
売上割戻引当金	334	1,183
その他	24,305	102,731
流動負債合計	1,982,234	2,018,593
固定負債		
リース債務	145,602	122,269
退職給付に係る負債	491,600	513,270
役員退職慰労引当金	86,371	99,965
その他	6,789	6,889
固定負債合計	730,364	742,395
負債合計	2,712,599	2,760,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,789,059	1,789,059
資本剰余金	846,059	846,059
利益剰余金	1,100,743	1,080,323
株主資本合計	3,735,861	3,715,441
その他の包括利益累計額		
その他の包括利益累計額合計	—	—
少数株主持分	—	—
純資産合計	3,735,861	3,715,441
負債純資産合計	6,448,460	6,476,431

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	8,841,855	8,893,524
売上原価	6,830,696	6,860,230
売上総利益	2,011,159	2,033,293
返品調整引当金繰入額	19,042	4,597
差引売上総利益	1,992,116	2,028,696
販売費及び一般管理費	1,785,831	1,845,087
営業利益	206,285	183,609
営業外収益		
受取利息	281	227
受取配当金	89	40
受取賃貸料	1,305	1,305
業務受託手数料	133	148
諸預り金戻入益	4,203	2,096
その他	5,807	3,825
営業外収益合計	11,819	7,643
営業外費用		
支払利息	3,931	2,323
持分法による投資損失	1,084	1,419
その他	319	1,488
営業外費用合計	5,335	5,231
経常利益	212,769	186,022
特別利益		
投資有価証券売却益	156	—
特別利益合計	156	—
特別損失		
固定資産除却損	707	88
減損損失	—	2,487
投資有価証券評価損	546	—
特別損失合計	1,254	2,576
税金等調整前四半期純利益	211,671	183,446
法人税、住民税及び事業税	50,050	47,112
法人税等調整額	53,292	36,481
法人税等合計	103,343	83,594
少数株主損益調整前四半期純利益	108,328	99,851
少数株主利益	—	—
四半期純利益	108,328	99,851

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	108,328	99,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	165	—
その他の包括利益合計	165	—
四半期包括利益	108,493	99,851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108,493	99,851
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	音楽事業	映像制作事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,634,261	1,207,593	8,841,855	—	8,841,855
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	20,494	20,494	△20,494	—
計	7,634,261	1,228,087	8,862,349	△20,494	8,841,855
セグメント利益	144,432	77,950	222,382	△9,612	212,769

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引等消去△9,612千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	音楽事業	映像制作事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,751,313	1,142,210	8,893,524	—	8,893,524
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	44,671	44,671	△44,671	—
計	7,751,313	1,186,882	8,938,196	△44,671	8,893,524
セグメント利益	135,731	65,283	201,014	△14,992	186,022

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引等消去△14,992千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。